

## 第 2 回

# まちづくりの将来ビジョン検討委員会会議録

平成16年5月21日

相模原・津久井地域合併協議会

相模原・津久井地域合併協議会  
第2回まちづくりの将来ビジョン検討委員会会議録

目 次

会議次第.....	1
出欠席者名簿.....	2
開 会.....	3
議 題.....	3
その他.....	18
閉 会.....	19

相模原・津久井地域合併協議会  
第2回まちづくりの将来ビジョン検討委員会会議録

日時：平成16年5月21日（金）午後2時から

場所：城山町立公民館（町民センター）大会議室

会議次第

1 開 会

2 議 題

- (1) 副委員長、合併協議会委員の選出について
- (2) 地域資源、課題について（グループ別討議）
  - ア 事前に提出された各委員からの意見の集約について
  - イ グループ別討議の進め方について
  - ウ グループ別討議
  - エ グループ別討議結果の発表、質疑応答
  - オ 各市町の視察したい場所について

3 その他

- (1) 第3回まちづくりの将来ビジョン検討委員会開催日程
  - 日時 6月12日（土）
  - 内容 津久井3町のタウンウォッチング
- (2) 第4回まちづくりの将来ビジョン検討委員会開催日程
  - 日時 6月23日（水）
  - 内容 相模原市のタウンウォッチング
- (3) 第2回相模原・津久井地域合併協議会開催日程
  - 日時 5月30日（日） 午後2時から
  - 場所 城山町立公民館大会議室
- (4) 今後の進め方について

4 閉 会

出欠席者名簿

出席（ 28名）

矢越孝裕委員長、高見沢実委員、牛山久仁彦委員、秋本博寿委員、井口学委員、大竹功委員、大貫弘子委員、小山昌寿委員、佐野誠吉委員、高橋幸一委員、寺崎雄介委員、棟上真理委員、中澤信幸委員、平林清委員、佐藤博夫委員、中里州克委員、野村靖委員、星川康弘委員、山口尚子委員、朝倉綜一郎委員、小嶋重春委員、細野信行委員、守屋浩之委員、井上栄作委員、大神田光治委員、鈴木史比古委員、永井充委員、橋本まどか委員

欠席（ 4名）

坪倉貴之委員、梅澤勉委員、小嶋理史委員、藤原恵一委員

事務局職員出席者

事務局長田所直久、事務局次長片野憲治、副主幹柿澤一夫、主査佐藤光男、主査松枝裕二、主査片岡聡一、主任平本迪生

傍聴者

一般傍聴、報道関係者

開会 午後 2時05分

#### 開会の宣告

矢越委員長 皆さん、こんにちは。委員長の矢越でございます。本日、第2回目のまちづくりの将来ビジョン検討委員会にお集まりをいただきまして、日中のお忙しい中、本当にありがとうございます。

前回、第1回目の委員会ということで、委員長に立候補させていただいたわけでありませうけれども、進行上、私も初めてでございます。皆様方も初めての経験、そして事務局の皆様方も初めての経験ということで、不手際があったことをこの場をお借りしましてお詫びを申し上げる次第でございます。

#### 議題(1) 副委員長、合併協議会委員の選出について

矢越委員長 今後の進め方といたしましては、先般の第1回目の委員会の席上でもお話しさせていただいたように、各町に1名、代表者を募ってくださいということを申し上げたと思います。その代表者は決まったようでありますけれども、委員長は私でございます、副委員長の方を3町の中から選出したいと思っております。

また、本日、合併協議会の方に、この委員会より4名出るわけでございますけれども、そちらの方も決定したいと思います。

各町ごとに、まだコンセンサスがとれていない部分がございますので、10分ではちょっと無理かもしれませんね。15分、20分の時間をおとりしますので、町ごとにお分かれただいて、その辺をお決めいただきたいと思っております。まず、代表者はだれであるのかということ、決まってはいますけれども、確定させていただくということと、その中で合併協に出るのはだれかというのを、できれば同じ人の方が、このまちづくりのビジョンを毎回出ていらっしゃるわけですから、進行もしているわけなので同じ人の方がいいわけでありませうけれども、どうしてもということであれば別の方でもしょうがないかなというところでありませうけれども、ぜひ同じ方でお決めいただければと思っております。

今後の進め方としまして、その町ごとの代表者プラス、これは最後の方の議題で申し上げることですけれども、今日のこの会議を進めていく上で、今後どういうふうにしていったら

いいのかということが、皆様、ご不安かと思しますので申し上げておきますけれども、ワーキンググループを立ち上げまして、正副の委員長プラス町の代表者並びに若干名の人を募りまして、6名になるか10名になるかわかりませんが、今後はどういうふうに進めていくかということ話し合っていきたいと思っております。それを各町の代表者が町の委員会メンバーの方々にお願いしていただく。もしくは、メールアドレス、皆さん、ほとんどの方がお持ちだということをお聞きしておりますので、メーリングリストを作成していただいて、今こういうことを合併協ではやっている、まちづくりでは今度こういうことをやろうとしているということを逐次報告していきたいと思っております。みんなが同じ問題を共通して認識して持っていくということが一番大事なことでありまして、ご協力のほどお願いしたいと思っております。

それでは、町ごとにちょっとお分かれいただいて、15分か20分かわかりませんが、今申し上げました代表者の方と合併協に出る方をお決めいただきたいと思っております。ここが相模原、城山、津久井、相模湖という形で、申しわけないんですけども、ちょっと並びかえていただけますでしょうか。

協議開始 午後 2時08分

協議終了 午後 2時30分

矢越委員長 大変お待たせしました。協議会に出るメンバーが決まりましたので、発表させていただきます。

大変失礼しました。その前に、会議録の署名人を指名したいと思っております。前回の順番から言いますと、今回は、相模原の井口委員と津久井の朝倉委員、おいででしょうか。会議録の署名人ということでよろしいですか。では、よろしく願いいたします。

それで、合併協の方でございますけれども、城山町から中里州克さん、津久井町から小嶋重春さんですね。それと、相模湖町から永井充さんの3名。それと、相模原市からは、不肖私が出させていただきますと、このように思います。

それと、町の代表の方は、城山町は中里さんが兼任で、津久井町は小嶋理史さんが代表でございます。相模湖町は井上栄作さんが代表でございます。できれば、この方、全員、ワーキンググループに入っていきたいと思っております。また最後の方でご説明申し上げます。

すけれども。それと、相模原市の代表は私でございますけれども、委員長という立場もございまして、お手伝いということで、ワーキンググループには高橋さんと中澤さんにお入りいただくということで決定いたしましたので、ご報告を申し上げます。

それでは、大変申しわけございません。また先ほどのテーブルの方にお戻りいただいてよろしいでしょうか。

それで、副委員長でございますけれども、この各町の代表者さんと、後ほど、この会議が終わりましたらお話しさせていただいて決定したいと思います。皆様方には、後日ご報告させていただきますたいと、このように思います。

## **議題（２） 地域資源、課題について（グループ別討議）**

矢越委員長 それでは、２番目の議題でございます。グループ別討議でございますけれども、地域資源の課題について（グループ別討議）。これに関しましては、まず事務局からご説明ということでよろしいですか。

事務局 合併協議会事務局の柿澤と申します。よろしく申し上げます。

説明に入ります前に、１件、ご報告したい事項がございます。

これから、この検討委員会で、１市３町が合併した場合のまちづくりの将来ビジョンについて検討していただくわけでございます。その検討結果につきましては、前回の委員会でお配りしましたが、真鶴町湯河原町合併推進協議会が作成した、「夢・まちづくりビジョン」のような報告書・計画書といった冊子としてまとめる作業になります。こういった報告書を作成する作業や、今後、この会議で必要となります各種のデータ、図面、そういった資料の作成、あるいは会議運営の支援、そういったものを専門的な見地からバックアップしてもらうということで、専門の業者と契約をいたしました。建設技術研究所というコンサルタントでございまして、本日も、この委員会の様子を知ってもらうために担当者に来てもらっていますので、ご紹介したいと思います。事務局の後ろに、お２人座っております。今後、この検討委員会がありますと、建設技術研究所から担当者に来ていただきまして、同席してもらうことになりますので、ご承知おきをいただきたいと思っております。

それでは、事前にお配りさせていただきましたが、「地域資源・課題について」という、このA 3の縦長の大きな資料、これについてご説明といたしますが、もうお目通しだと思いま

すので、簡単にお話しさせていただきます。

それとあわせまして、本日お配りしてある集計表をご覧いただきたいと思います。

この資料は、本日のグループ討議の際に参考にさせていただこうと思ひまして、あらかじめ事務局で、各委員さんから提出していただいたご意見をまとめたものでございます。30人の委員さんから、合わせまして、合計796件という多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。この資料の見方につきましては、表紙に細かく書いてございますので特に説明はいたしません。集計結果から見た特徴的なこと、傾向といったようなものを簡単にご紹介をさせていただきます。集計表の方をご覧いただければと思います。

まず、相模原市に関して言えることなんですが、交通関係で、公共交通が充実している点を高く評価する意見があるという反面、交通渋滞で住みにくいと感じているご意見もほぼ同数あるということでございます。

また、土地利用の関係では、都市化の進展や駅周辺の利便性の高さを住みよいととらえる一方で、市としての一体感に欠けるというご意見も多くありました。

そのほか、保健・医療・福祉、教育・文化、こういったものを含めまして、公共施設の整備関係につきましては全体的に高い評価をされているという感じでございます。

それから、津久井地域3町に共通する主な意見ということですが、まず、住みやすいというご意見で、まず、何と云っても、自然環境、これに恵まれているといったご意見が多くございました。

逆に住みにくいというご意見としては、まず産業の関係で、地場産業、あるいは働く職場、こういったものが少ないというご意見。それから、保健・医療・福祉、教育・文化、こういったものを含めまして、公共施設の整備が不足しているという意見がございました。

それから、3町共通ではなく、それぞれの町に関するご意見を傾向としてとらえますと、まず、城山町につきましては、土地利用関係で住環境がよいというご意見が多くございましたが、公共交通網が不足しているところが住みにくいというご意見もありました。

津久井町につきましては、観光施設の関係が評価が高く、城山町と同様、公共交通網の不足しているところが住みにくいというご意見もございました。

相模湖町につきましては、津久井町と同様で、住みよいところとして観光ということを挙げる意見が多くありましたが、交通に関しては、公共交通網が不足しているというご意見と、逆に、鉄道網とインターチェンジがあって住みやすいというご意見、逆のご意見もありました。

以上で、簡単でございますが、「地域資源・課題について」ということで、前もって提出いただきました資料についてご説明させていただきました。

以上でございます。

矢越委員長 ありがとうございます。

それでは、本日、これから進めていくワークショップの進行につきまして、先生の方からご説明をよろしく願いいたします。

高見沢委員 それでは、私、初めて話しますけれども、あそこに座っておりますアドバイザーといいますか、牛山先生と2人で。牛山先生は文科系的な立場で、私は理科系で余り弁は立たないんですけれども、今日のワークショップの司会進行をさせていただきます。よろしく願いいたします。

やっとな議論が始まるかなということですので、リラックスして聞いていただきたいんですが、今日は、もう最初から町ごとではなくて、ごちゃまぜで座っていただいています。というのは、なかなか町ごとにやって、さあ、それからどうだといっても始まらないので、まずはお互いに議論していただいて、それぞれの町、自分の町のよさを語ったり、あるいはそれを聞いて質問を受けたりということで、まじっていた方がいいのではないかということで、そういう設定になっております。

まずやっていただきたいのは、司会者。事務局も私どももお手伝いしないわけではないんですが、メインではありませんので、主人公は皆さんですので、テーブルごとに司会者を決めていただいて、その人のもとでディスカッションを進めてもらうというふうにしたいと思います。

それから、最後に、それぞれのテーブルでまとまった成果を前に出てきて張って発表していただきますので、その発表者。あらかじめ心しておかないと、後でお前だと言われても話せませんので、一応決めておいてください。司会者が兼ねても結構ですが、司会者は頭がいっぱいになってしまって余裕がないかもしれないので、別の方がいいかもしれません。では、スタートと言いましたら決めてもらいます。まずそれが1つ目です。

それから、それが決まりましたら自己紹介。自己紹介が先の方がいいのかな。どっちがやりやすいですか。それはお任せしますので、何々町の何々です。どんなふうに思って来ましたという簡単な自己紹介をしてください。

私も、このまとまった資料が届いたのは昨日でして、さっき電車の中で全部見てきたんですが、こんなにたくさん出るとは思っていませんでした。先ほど30人で800件というご

紹介がありましたけれども、かなり書かれています。多分、もう1個1個出してもしょうがないといいますが、大体出切っているというふうに思っているのではないかと思います。

そこで、今日は、同じことを繰り返してもしょうがありませんので、皆さんの机の上に、付せん紙といって、のりがついているカードが行っているかと思いますが、それをおよそ3枚ずつぐらい配ってください。1人3枚ずつぐらい。多くても結構ですけれども。今回、多分、今までと違ったのは、自分の町がいいとか悪いとかではなくて、人のところまで考えた機会があったと思います。そこで、さっき私も急に司会の内容を考えたんですが、自分の町の自慢をするというよりも、今回、このテーブルで、ぜひこういう点については強調したい。自分の町が、いろいろ出たものを見てみて、やはりうちの町の自然はいいというふうにお思いになれば、その自然を強調して、こうこうこういうところを特に課題として、課題というよりも、資源として見直したいとか、それでも結構ですし、今回初めてよその町のことについて考えてみると、どうも、うちよりもあっちの方がいいと。ただし、結構、ある意味で関連性があるって、我が町のことだけではなくて、津久井全体としてこういう特徴があるから、ぜひそれはいいではないかとか、あるいはその逆に、課題だとか、それでも結構ですので、たくさん挙げてもちっと時間がなくなってしまいますので、大体平均3つぐらい。時間を司会の方にはとっていただいて、書く時間、5分ぐらいでいいのではないかなと思うんですが、その書きぐあいなんかも見ながら時間を延ばしても結構ですけれども、3枚、とりあえず用意するとすると、1枚には必ず1個のことだけ書いてください。自然も交通もいっぱい書き込むのではなくて、この紙はこういうことを書こうと、次の紙はこういうことを書こうというふうに別に分けて書いてください。もしわからない方がいましたら、事務局もいますし、あるいはわかっている方も多分机の中にいらっしゃると思いますので、助け合いながら出していただきたいと思います。

それが終わりましたら、司会の方が、順次、ではやめということにさせていただきまして、順番を適当に決めていただいて、発表をしていくというふうにしたいと思います。例えば、1人目の方が、この交通渋滞というのは津久井全体にとって非常に問題であるというふうにもし提起されたとしますと、できれば、その関連したもの。6人とか7人いらっしゃると思うので、多分、交通関係で、ああ、おれもそうだとか、あるいは交通なんだけれども、違う側面でこういうふうになっているとか、多分、関連し合うものがあると思いますので、それを順番にとらわれずにずっと出して行って、机の上に地図と白紙の大きな紙が用意してありますので、これも適宜、何か具体的な場所についての指摘でありましたら地図の上に張って、

この部分が特に込むので津久井全体としても問題だとか、そんな感じで書き込んでいていただきたいと思います。そのために机の上にマジックが用意してあります。後で発表していただきますので、なるべく大きな字でわかりやすく、レイアウトなんかも考えながら、みんなで協力して出していくというふうにしたいと思います。

例えば、今の話でいきますと、交通について一巡したら、ほかにありませんかともう1回聞いてみて、では、その次のテーマ、次の方、お願いしますというような感じで、では農業の問題だとか福祉の問題だとかという感じで次々に出てくるんだと思います。

テーブルが4つありますので、多分、全く同じということはありません。それぞれ個性ある内容になってくると思います。それを後で、それぞれ1班ごとにここに出てきていただいて発表していただきますので、その中でお互いに認識をし合うというふうにしたいと思います。

テーブルでの議論は、例えば、先ほどの交通に戻りますと、もしかすると、AさんとBさんとは認識が違っているかもしれないという場合には、けんかするのではなくて、あなたはそういうふうに言っているけれども、それは本当ですかと。いやいや、私の思い違いだったとかいうことで、今回の目的は、みんなで何かを決めるわけではなくて、今ある課題とか、この自然ですね。自然というよりも、資源ですね。それについて共通の理解を得ようということですので、もしかすると、場合によっては、AさんとBさん、あるいはA班とB班と、悪い意味ではなくて、全然認識が違っていたという報告でも構いませんので、それをありのままに、こういう議論が行われたよということをご報告いただければと思います。

繰り返して申しわけないんですが、本当に人のことを批判したりとか、何か物事を合意形成しようという、そういう場所ではありませんので、できるだけお互いによく話を聞いて、それぞれの立場を理解し合いながら。また、次回にはバスで移動ですか、ウォッチングは。そういうような機会も設けてありますので、できるだけ最初の段階で、私は何とか町代表というよりも、このビジョンをともに考えるメンバーであると、一員であるというような意識を醸成していきたいなというふうに思います。

私からはそれぐらいなんですが、何かご質問とかはございますか。時間は大体、とりあえず40分から45分ぐらいを見ておきたいと思います。もし全然進んでいないというか、状況によりましては若干延ばすかもしれませんが、とりあえず、それぐらいをめでに司会の方は進行してってください。後の発表の方も、そのできぐあいを見て時間配分を決めますので、とりあえず、事務局の方もいますので、見ていただきながらスタートしていただきたい

と思います。よろしいでしょうか。

では、進めてください。

事務局 すみません、時間配分なんです、3時半に発表できるような体制をとっていただきたいと思います。よろしくお願いします。

〔グループ別討議〕

高見沢委員 それでは、時間が大分過ぎましたので、では、うちはもう発表できるというところからいきましょうか。では、Aグループ。A、B、C、Dですね。まだ発表準備ができていないところは、できるだけ速やかによろしくお願いします。

井口委員 それでは、Aグループの方から発表させていただきますが、いろいろ議論を整理するのはなかなか難しいのでまとまりがないかもしれませんが、私たちが一番大きく注目したのは、交通問題です。皆さんも恐らくそうだと思いますが、図にかいてみると非常にわかりやすく、相模湖の駅前から、相模湖町、城山町、津久井町、相模原市と横断する、この国道412号、413号、国道16号、これは全部渋滞している。例えば、1つのまちになったときに、ここの道路が渋滞していて、もう行き来が大変だというのがデメリットです。デメリットは赤で書いてあります。

もう一つ、鉄道です。鉄道は、ここに横浜線、京王線、相模線、小田急線と入っていますが、ほとんど右端のところだけに鉄道があります。あとは車とバスで対応していますが、やはり渋滞しているので、全体を考えたとき、交通のバランスがよくないなというのが一つの課題であるということで、交通は赤い字で2つ書いてあります。

次に意見が多かったのは、医療の面です。相模原市の方は、北里大学とか国立相模原病院だとか協同病院だとか、大きな病院があります。しかも、大学病院があるために、周辺に大学病院の先生が開業している個人の病院が多いということです。津久井郡の方は、最近では日赤の病院が非常に充実してきたということですが、相模原に比べるとまだまだ足りないのかもしれませんが、医療の面で相模原の方がいいところということで、青い字で、大病院、個人病院が多いということが特徴だなということでした。

その次に多かったのが自然です。津久井はもう本当に自然が素直に多い。しかも、広範囲で大規模な自然が多いということです。片や相模原市が自然がないかといったら、そうではなくて、相模川のあたりのそういう自然であるとか、あと都市型の公園が充実しているということです。津久井の方は、まだ都市型の公園というよりも、いろいろな可能性を秘めているのではないかとということで、教育の方でも出ていますが、自然を生かした教育ができる

のではないかというのがあったり、社会環境の方でも、もっと自然を活用していこうと、いろいろな資源になり得る可能性があるのではないかという意見でした。

あと生活環境ですが、この辺に大規模なスーパーが多くて、安くて品数がいいということと、やはりこの道路沿いに店舗が多いので便利だということです。

あとは、相模原市は犯罪が多いという意見がありました。

あとは、津久井地域の下水道が未整備であるとか、津久井の少子化と子供の人口の減少、いろいろあります。

全般的に出た意見を大きくまとめると、このぐらいです。赤い字がデメリットで、青い字がメリットというか、いいところという結論でしたが、一応課題を抽出するということで、我々のグループはこういう課題を抽出いたしました。

以上です。（拍手）

高見沢委員 ありがとうございます。

同じグループの方で、何か補足される方はいますか。今ので大体伝わっていますか。よろしいでしょうか。

ほかのグループの方から質問等ございますか。よろしいでしょうか。

後から出てくると同じことが重なるので不利かもしれませんが、では、次はBグループでよろしいですね。ではBグループ、お願いします。同じことでも、遠慮されずに、繰り返して結構です。多分、同じことが出てくるということは、それだけみんな同じ課題だと思っているということだと思います。

小山委員 それでは、Bグループの方の発表をさせていただきたいと思います。

Aグループと同様のこともあると思うんですが、Bグループで出た話を発表させていただきます。

一番やはり多かったのは、自然環境というところで、津久井地域の自然環境が非常によいというものがある反面、相模原では自然環境というか、緑が少ないという意見もありました。都市型の緑化だとか、あとは、津久井は緑が多い反面、市街化がちょっと少ないかなという部分の話も出ました。

自然環境、それに付随して住環境もそうなんですけれども、ごみについては、特に城山の地域についてはよく維持ができていたりとか、あとは、相模原、津久井も含めて、ごみ問題でより意識を高めていったらいいのではないかという話です。

教育については、教育とか文化、すばらしいものがあるのではないかという形です。

先ほどもありましたけれども、やはり交通については、同じように、412号線から413号線、また16号のこの渋滞が問題だろうという話があります。

医療とか福祉も含めて、全般にも書いてあるんですが、治安だとか医療、福祉の充実がもうちょっと図れればなんていうことがありました。

あとは、過疎が進む。津久井地域において過疎があるという中で、自然を生かした産業があったり、まちおこしができればいいなとかと、そういうものがうまく調和がとれたものになってくればいいのではないかなというBグループの話でした。

多分いっぱい足すところがあると思うので、B班の人、何かあったらよろしく願います。

以上です。（拍手）

高見沢委員 ぜひ何か補足を言っていたらいいですか。よろしいですか。

では、Cグループの方、お願いしたいと思いますけれども。

寺崎委員 Cグループの発表をさせていただきます。

大きく分けますと、書いてあるんですが、この紙の数を見ていただくと、こちらが交通関係の意見で、こちらが水源とか自然環境についての意見。そのほか1件、意見があります。

図といたしましては、この赤いのは渋滞ですね。渋滞ポイントと、どこがどう渋滞しているかというのをみんなで見合いました。緑は湖でありまして、この青で囲ってあるところは、公共交通が不便であるという地域を挙げてみました。交通が多くなったのは、話を聞いていると、相模原も城山も相模湖も津久井の方も、現状の自分の今の町の交通に不便さを感じているわけです。加えて、今度、それが一緒になるという話になるところに不安を多く感じているんだなというのがお話の中から読み取れました。

自然環境につきましては、自然がある、大事にしたい、いいというのは前提であるんですが、一方で、そこにお住まいの方の率直な意見として、その自然を保護するがために、今ある いろいろな規制があるそうなんですけれども、その規制をするのみではなくて、せっかくある自然を、観光とか、そのほかのまちづくりの資源として生かせるようなルールづくりとか対応が必要なのではないかというご意見がありました。自分自身、相模原なものですから、そういう意見を初めて聞きましたので勉強になりました。

例えば、この津久井の これも知らなかったんですが、青根の地域のこの辺なんかは、バス路線自体が廃止をされてしまったそうであります。今、町営のバスとか藤野のバスとかで対応しているそうなんですけれども、不便というか、そもそも公共交通がない地域ができ

てしまっているということも私にとってはためになりました。

交通に集中したのは、さっき言ったように、それぞれの現状に不満があることと、あと、これは私が言った意見なんですけれども、相模原から相模湖に行こうというと、町田を通過して、八王子を通過して、中央高速でこう行くんですね。だから、一緒のまちなのに、ほかのまちを通過して行かなければいけないという合併があり得るだろうかという疑問が私もありまして、そういう意味では、この中でしっかりした広域道路をつくっていかねばいけない。道路のあり方等は議論があると思うんですが、交通を通していかねばいけないという意見が多く出ていました。

そのほかの意見として、余りまちが広過ぎると住民の声が行政に届きにくくなるのではないかとのご意見もいただきました。

まとまりがなくて、羅列だけなんですけど、以上です。何か補足がありましたら、よろしくをお願いします。（拍手）

高見沢委員 よろしいですか。発表の方が全部まとめて、そのほかの方の意見を全部吸収したという感じだと思いますが、ではDグループの方、お願いします。

橋本委員 Dグループ、発表させていただきます。

ちょっと皆さんと違うんですけども、まず問題になったのは、道路の問題が出ました。プラスの面としては、これから将来性が、道路をもっといろいろつくれるのではないかというプラスの未来性の感じの意見も出ました。あと逆に、渋滞が今多いという話も出ました。

逆に、道路の関係とは逆な感じで、自然がいっぱいあるのではないかという意見がたくさん出たんですが、道路と自然のちょうど間に、自然に対する意識が、まだ相模原市にしても津久井3町にしても低いのではないかなという意見がありまして、この対局な感じなんですけど、意見が出ました。

あと、教育問題が出ました。教育は、ちょっと相模原市と津久井郡の格差がある。あと、給食の関係の話も教育関係の中で出ました。

あと、一番ここががんではないかなという話が、少子化の問題、あと財政難、あと産業の衰退がちょっと目立つという意見。これが一番がんというか、一番の問題ではないかという話です。

あと、真ん中にありますのが、これはちょっといいなというのは、定年後、結構楽しんでる方が多い。あと、自治会の活動が活発であるという意見も出ました。

ごめんなさい、私、ちょっとまとまっていない。このような意見がDグループです。お願

いします。(拍手)

高見沢委員 もう大丈夫ですか。よろしいですか。

思っていたよりさっと済んでしまったので、どうしようかなと思っているんですが、私は司会に徹しまして、では、この辺で、もう一人の牛山先生の方に、講評というか、印象も含めてコメントをお願いしたいと思います。ちょっと長目をお願いします。あるいは議論をおっしゃってください。

牛山委員 どうも、牛山です。こんにちは。

長目と言われると、ちょっと困るんですけども、今回、こういう完全公募の中で合併問題のまちづくりを考えるというのは、恐らく全国的に見てもほとんど例がない、意欲的な試みではないかと思っております。そういった意味では、合併がうまくいくかいかないかも、この会にかかっているのではないかというふうに思っているんですけども、皆さん経験されている方もたくさんいらっしゃると思いますけれども、こういう人数の中でワークショップということで各グループに分かれて、できるだけたくさんの皆さんの一人一人のご意見をここへ出していただくということで、ちょっと残念ながら、私、あっちの方からだったので、細かく一つ一つまだ見れていないんですけども、それでも、今お話を聞いただけでも、大変合併、いわゆる合併問題にかかわるさまざまな問題というか、あるいは心配事とか、あるいは課題というのが出てきたのではないかというふうに思います。

それで、まず一つは、非常に前向きな話といたしますか、いいのではないかなと思って伺っていたのは、やはり相模原市という、人口も多くて、割と都市化している部分ですね。皆さんの言葉で言うと、例えば、A班で都市型の公園があるようなところと、自然型というんですかね。自然に親しむタイプでのそういう豊かさのある地域と違うだろうし、一方では、例えば、産業が、工場がたくさんあるとか、あるいは企業があるとかいう形の地域と、それから、不満とか心配事もあるんですけども、そうではなくて、むしろ自然が豊かで、子育てとか生活の上で非常にいいのではないかという3町の方からのお話、3町でもいろいろあると思いますけれども。そういうところで、その違いをプラスというか、違いをメリットに転嫁するようなまちづくりですね。そういう両方を兼ね備えた、もう何か町だけではないよとか、自然だけではないよと、相互に生かし合うようなまちづくりをするようなことがあるのではないかということですね。その辺をどういうふうに皆さんの中でイメージ化したり、場合によってはスローガン化していく。

例えば、長野県の、これは合併はちょっとうまくいっていないんですけども、諏訪地域

というところがありますけれども、その合併協議会の計画、これはちょっとだめになってしまっているんですけれども、そこなんかだと、諏訪湖と八ヶ岳が響き合うなんて、山と湖周辺、湖周地域が響き合うというようなスローガンを立てていますが、そういう市民、町民の皆さんの心に響くような、何かそういうものがつくっていただけるかどうかというようなことが一つあるかと思います。

それと、これは逆に心配事がかなりたくさんあるのではないかと。これは、もちろん、新しいことをするわけですから心配事があるのは当然なんですけれども、例えば、一番、どの班でも出てきたのは、交通の問題ですよね。とにかく、やはり今回の相模原、それから津久井郡、市と郡でいうと、相模原市と津久井郡、津久井郡3町の合併問題で一番大きなネックになってくるのは、やはり面積が非常に大きくて、もちろん、面積といっても山の部分がありますから、どの程度かというのはこれからまた検討していかなくてはいいませんが、その非常に大きな面積をどのようにカバーしていくかということで、例えば、広域道路のこととか、あるいは3町の方で、特に公営というんですかね。バスなんかを動かしている問題を、これから、では合併して、全体としてどういうふうにやっていくかとかいう問題が一番大きな問題として出てきているのではないかと思うんですね。ですから、この面積の急激な拡大、これはどの市、町にとっても共通の課題ですが、急激な拡大をどのようにカバーしていくまちづくり、これが恐らくハードの面になっていくかと思いますが、そういったことが一番大きな心配として出てきていると。これは一つ、交通問題ですね。

それと、やはりもう一つ、さっきの違いということなんですけれども、現在の人口規模や行財政能力の違いによって、教育とか文化とか医療とか、そういった問題についてどうしていくかという比較的ソフトな部分ですね、これの調整と。これは任意協議会の方でも事務の調整ということとどんどん進むと思うんですが、そういったものを横目に見ながら、どんなふうには私たちは考えていくのかという問題があります。

それと、やはり合併でいいことばかりでないのは当然なんですけれども、デメリットとしては、それぞれが抱えている問題が全体化するわけですね。相模原も、例えば、さっき出ていました犯罪が結構多いとかですね。それから、3町でも幾つかのところから出ていた経済的な問題、経済の活性化の問題とか産業の活性化の問題などをどのようにしていくかというふうなことも、そのデメリットを克服するようなまちづくりは何なのかということですね。

それと、もう一つの問題としては、やはり自然環境の問題で、大分都市部と、あるいは3町に見られるような自然の豊かな地域の間で認識が違うところもあって、ここはかなり議論

がこれから出てくると思いますが、例えば、C班の方で、規制強化だけではなくて、緩和によって活性化というご意見もあるでしょうし、いろいろなご意見の中には、やはりこの3町に特に豊かな自然をどうやって守っていくかという規制を強化するみたいな話もあって、その辺のところは、もちろん、両方、主張には利点があるわけで、その辺をどういうふうに、この合併という問題の中で考えていくかというようなことがこれからの課題になっていくかと思います。

そして、もう一つは、最後にD班の方から、自治会の活動というふうなことでちょっとご意見が出ていましたけれども、恐らく、そういう問題について、どういうふうに地域で自己決定をしていったり、参加や分権型のまちづくりをしていくのかという問題が出てくるのではないかと思います。これは、特に、3町の皆さんを含めて、地域がどれだけ意思表示とか自己決定できるかという問題は、恐らく重大な、これから合併後の課題になっていくと思います。ちなみに、相模原市の方でも、非常に大きい都市だということが大変問題になっておりまして、都市内分権を進めていこうという議論もされているところであります。そうすると、私個人の考えですけれども、3町がそれぞれ地域を持って、地域自立ということが当然あるわけですけれども、実は、相模原の方も、62万で1つの固まりを持っていて、一体的にやっているかといったら、そんなことはなくて、やはりそれぞれ地域で抱えている問題が南の方と北の方では随分違うとか、私なんかは、やはり現状の相模原市もそれぞれの地域に分権していくと。それで3町も分権していく。それぞれの地域がそれぞれまた、ばらばらなんだけれども、一体的に市としてまとまっていくというふうなイメージを持っておりませんが、そんなことも、この自治会の問題なんかを今出していただきましたが、それをきっかけに、それぞれ考えていかなければいけないのかなというふうに思っております。

いずれにしても、B班の方でいい言葉で出していただきましたが、調和のとれたまちづくりということでは、言っていたと思いますが、わずか40分か45分ぐらいご議論いただいた中でも、それぞれの違いと、それから必要なことと、それを乗り越えて、どうやって調和のとれたいい町、ほかの自治体　今、分権時代ですから、これは自治体間競争ですから、例えば、隣の八王子市とか町田市とか、南の方の大和や座間や、そういった自治体と比べて、この新市、新しくできる市が、どんなメリットとすばらしい特徴を持ってやっていけるか。本当に競争ですから、ぜひ今日出された点を、これからワーキンググループというか、今日決めていただいた皆さんや事務局を含めて整理させていただいて、次回にまた出していただけると思っていますので、またぜひこの議論を発展させていただきたいというふうに思っており

ます。

また高見沢先生にお返しして、少し議論いただければと思います。よろしくお願ひします。  
高見沢委員 私、何かこの時点でこういうことを聞きたいとか、特に言っておきたいですね  
という方、いらっしゃいますでしょうか。

もしいらっしゃらなければ、私が言わなければいけない最後の仕事は、次回、次々回と、  
1市3町を皆さんで見回るといふことになると思いますが、地図を張っておきますので、  
ぜひこの辺は見てみたいとか、見てもらいたいとかいうポイントがございましたら、皆さん、  
まだ付せん紙がたっぷり余っていますので、義務ではありませんが、もしそういう点があり  
ましたら、付せん紙の方に、こういうところを見てみたいとか書いたものをここに張って、  
最後に帰っていただければと思います。

まだ最後ではありませんので、私のこの司会としては最後で、どうもありがとうございました。  
した。(拍手)

では、委員長にマイクをお戻しします。

矢越委員長 長時間にわたりお疲れさまでございました。長時間といつても、時間が過ぎる  
のは議論をしていると早いもので。でも、大体こう見てみますと、同じようなものが多いの  
かなというところがございます。

先ほど合併協議会に出る人のお名前を申し上げたんですけれども、一応承認という形で、  
もう一度、くどいようすけれども、お願いしたいと思います。城山町が中里州克さんで、  
津久井町が小嶋重春さん、相模湖町が永井充さん、相模原市が、私、矢越孝裕でございます。  
こちらの方でよろしいでしょうか。(拍手)

よろしいですか。では、ご承認いただいたということで、よろしくお願ひいたします。

なお、先ほど言いましたように、ワーキンググループの方を立ち上げたいと思いますので、  
各町ごとの合併協に出られる方とグループの代表の方は、ちょっとお残りいただきたいと思  
います。

それと、すみません、メールアドレスをお持ちでない方はいらっしゃいますでしょうか。  
3名ぐらいでしょうか。4名ですか。メーリングリストをつくりたいと思うんですが、その  
辺に関して、どうでしょうか、皆さん。反対の方はいらっしゃいますか。自由に書き込んで、  
誹謗中傷以外であれば、何を書き込んでも、この問題に関してはいいということをつくりた  
いと思うんですけれども、よろしいでしょうか。

それでは、メールアドレスは事務局の方でわかっているんですかね。では、そのうちメー

リングリストの招待状が届くと思いますので、返信の方をしていただければと思います。

#### その他

矢越委員長 それでは、3番のその他でございます。

1番項、第3回まちづくりの将来ビジョン検討委員会開催日程の件。これは一括にしますか、事務局の方から。では、よろしく願いいたします。

事務局 それでは、3番のその他の(1)、(2)、(3)につきましては、今後の日程の関係でございますので連絡させていただきます。

まず、(1)ですが、次回の日程でございます。先日お配りした資料には、6月11日金曜日と記載させていただいたんですが、都合によりまして、6月12日土曜日ということをお願いしたいと思います。お間違いのないようお願いしたいと思います。内容については、津久井3町のタウンウォッチングということで、バスを仕立てまして現場を確認していただくというものでございます。

コースや日程につきましては、今日の討議などを踏まえまして早急に決めさせていただきます。お知らせしたいと思います。ただ、何カ所も見ることになると思いますので、多分、朝からお昼を挟んで、1日がかかりになるのかなと思います。よろしく願いします。

(2)番、第4回の日程については、6月23日の水曜日、これは相模原市内のタウンウォッチングを考えております。これについても、コースや日程につきましては、決まり次第、ご連絡をしたいと思います。

(3)番については、第2回の相模原・津久井地域合併協議会の開催日程です。5月30日の日曜日、午後2時から、この場所で行います。先ほど委員長からお話がありましたように、公募の住民代表として委員になっていただきます4名の方については、協議会委員という立場でご出席いただき、これから毎回、委員長に、このまちづくりの将来ビジョン検討委員会で何をやっているかというようなご報告をいただくこととなります。そのほかの方については参加は自由でございますが、ご都合のつく範囲でご出席いただければと思っておりますので、ご案内をさせていただきます。

今日の時点で、5月30日、もし出席できるという方がいらっしゃいましたら、席をご用意する都合がありますので、事務局の方に一声かけていただければと思っております。

以上でございます。

矢越委員長 ありがとうございます。

それでは、今後の進め方に関しましても、先ほどから何度もご説明しているとおり、ワーキンググループを立ち上げまして、逐次、皆様方にはご報告していくというやり方でやっていきたいと、このように思っております。

先ほど言いましたように、代表者の方々は、この後、お残りいただきたいと思えます。

## 閉 会

矢越委員長 それでは、長時間にわたり、本当にお疲れさまでございました。ビジョンというものは、言えば簡単、やるのは非常に難しいものかと思えますけれども、最後まで頑張っていきたいと思えますので、皆様方のご協力もお願いしたいと思えます。

本日はありがとうございました。（拍手）

事務局 それでは、次回のバスの現場視察の関係で、見たいところのご希望がありましたら、ポストイットに書いていただいて、こちらの図面に張っていただければと思えますので、よろしくお願ひします。

閉会 午後 4時10分

相模原・津久井地域合併協議会会議運営規程第8条第3項の規定により署名する。

平成16年6月23日

会議録署名人 井 口 学

会議録署名人 朝 倉 綜 一 郎